

第 6 2 回 全 九 州 ろ う あ 者 大 会 速 報
第 4 1 回 全 九 州 手 話 通 訳 者 研 修 会 i n か ご し ま



～ 熱 き 心 未 来 を 拓 く 燃 え よ 桜 島 の よ う に ! ～

第 8 号

発 行 : 第 6 2 回 全 九 州 ろ う あ 者 大 会 ・ 第 4 1 回 全 九 州 手 話 通 訳 者 研 修 会 実 行 委 員 会

発行者 : 委員長 寿 福 三 男

所在地 : 〒890-0021 鹿 児 島 市 小 野 1 丁 目 1 番 1 号 ハートピアかごしま 3階 鹿 児 島 県 聴 覚 障 害 者 協 会

問 合 せ : TEL 099-228-2016 FAX 099-228-6357

大会専用アドレス : zenkyusyuroasyataikai@kagoshima-deaf.jp

2013年8月18日

発 行

9月8日(日) 第二部アトラクション 13:00～ 特別記念講演のお知らせ

テーマ:『「過去から学べ」特攻の母 鳥浜トメと特攻隊員の真実』

講 師 : 鳥 濱 明 久 氏



<鳥浜 トメさん>

昭和4年、太平洋戦争末期、「富屋食堂」は帝国陸軍の指定食堂となります。そのため、たくさんの特攻隊員が訪れるようになりました。隊員さんたちを我が子のようにかわいがり、家財を投げ打つてもてなします。いつしか隊員さん達はトメさんのことを「おかあさん」と呼ぶようになりました。しかし、その関係が深かった分、悲しい現実をたくさん目の当たりにすることになるのです。

御遺族や生き残られた方々が知覧を訪れたとき、身を寄せる所、泊まる所がないと困るという気持ちから、隊員さんたちが当時訪れていた建物を戦後買い取り、旅館業を始めます。それが「富屋旅館」の始まりです。

◎要員・実行委員・通訳者のポロシャツの紹介です。



実行委員 ピンク

要員 オレンジ

通訳者 紫

※実行委員(ピンク)・・・大会役員です。

※要員(オレンジ)・・・会場案内、道案内など気軽に声掛けしてくださいね。

※通訳者(紫)・・・・・・・・通訳担当です。



左袖にマークがついています

西郷隆盛さんの顔のほほにあてている手話は、西郷隆盛さんのほほがふくらんでいる表現で鹿児島県では「西郷隆盛」として使われています。

西郷隆盛さんの横にある山の絵は鹿児島のシンボルであります桜島のイメージを表しています。

ポロシャツの右腕にこのイラストが張り付けてあります。かわいいイラストです。見てくださいね。

<お詫び>

速報7号の掲載に間違いがありました。

(誤)

★第3分科会(手話通訳)★

テーマ「権利としての情報・コミュニケーション保障」

講師 公益社団法人 香川県聴覚障害者協会 会長 遠藤 龍治氏

助言者 公第2分科会(災害)

テーマ「東日本大震災に学び防災対策に取り組もう！」



(正)

★第3分科会(手話通訳)★

テーマ「権利としての情報・コミュニケーション保障」

講師 公益社団法人 香川県聴覚障害者協会 理事長 近藤 龍治氏

速報9号は会場変更等と観光名所について載せる予定